

1 研究主題

主体的に学びに向かい、関わり合いながら理解を深める生徒の育成
 ～基礎的な知識・技能の定着と
 思考力・判断力・表現力の育成を図る指導方法の工夫を通して～

◎身につけさせたい力と目指す生徒像

- ・基礎的・基本的な学力を身につけ、自ら既習事項を活用して物事を考えることのできる生徒、またそれを表現することのできる生徒（学力向上）
- ・情報を分析・評価・論述できる生徒(学力向上)
- ・自ら課題解決に向けて、予測・実践・評価することができる生徒(学力向上)
- ・自分自身を大切にするとともに、様々な人の立場に立って考えた言動をし、お互いに高め合うことができる自立した生徒(自尊感情)
- ・夢に向かって、諦めずに粘り強く課題と向き合い、自らの考えや集団の考えを発展させることのできる生徒(自尊感情)

2 研究内容

【1】「教えて考えさせる授業」によるわかる授業づくり

(1)学習規律の確立

①学習規律と小野南中学校の学習



- 小野南中学校の学習のステップ、学習規律の徹底を目指した取組を行う
- 授業の中での些細なことも、情報を共有する
- 発表時に語尾まではっきりと明確に発言させる

②信頼できる集団づくり

- 班活動を中心に、学び合い学習等を推進する
- クラスの中で「だめなことはだめ」と言える雰囲気を作り、信頼を高める
- 生徒会学習図書部の取組を充実させる

(2)授業力の向上

①モデル学習

- 学習規律、小野南中学校の学習の確認
- 「教えて考えさせる授業」展開
- 家庭学習の手引き活用方法、家庭学習の仕方、ノートなど

②研修

- 学習指導の方針の共通理解、指導方法の工夫
- 全体研修 評価について

- 先進校への視察（主体的、対話的な学び合いなど）
- 小中交流（小学校の授業研究に参加など）→小中交流参観授業
- 授業研究【全体教科研修】【教科研修】

③授業改善（思考力・判断力・表現力育成に向けて）

- 言語活動の充実を目指した授業づくり
 - ・思考力・判断力・表現力の向上をめざす
 - ・各教科で生徒達の活動の場所を増やすような工夫を図る
 - ・学習内容、学習目標の設定および、評価の観点を明確にする
 - ・全教科においてICT 機器を使って効果的な授業づくり
- モデル学習（学習の取組やノート整理の工夫を 学び合いの方法）継続的な取組
- 授業研究の充実を図る（空き時間を利用した相互参観を）
- 教科での教材研究を進める（校内授業研究、校内研究・市内等の研究会）

④班活動の活性化

- 「班討議の基本」実践（授業に組み入れる）
- 班長の育成：班長会議（毎学期1回程度・学年→学級単位）
- 班を活動させる、活用する授業の工夫（教材・指示の工夫）
- 班づくり ・「わからないこと」を聞ける関係づくり、「わかること」を伝える力の育成
 - ・形式に流されず、「気づく場」「考える場」の重要性を考えた指導

⑤教科班の活用

- 教科班会議 →各学期初め…教科班の役割・分担（仕事内容を明確に）
- リーダーノートの活用
 - ・教科ごとに工夫
- 教科連絡はできるだけ授業の終わりにする（変更については教師から随時連絡）
（授業内容・準備物・主題・学習規律目標）
（教室の背面黒板は前日の昼休みに記入）
- リーダー学習の内容
 - 【授業の始め】
 - ・主題・学習内容・学習規律の確認・点検（学習意識・学習習慣）
 - ・学習内容の基礎基本の確認（教科班から出題も）
 - ・リーダーノート（ファイル）の活用
 - 【授業の終わり】
 - ・評価（自主的な学習態度の育成）：自己評価カード

⑥基礎・基本の確実な習得

- 課題提出の充実を図る
- つまずきチェックや基礎学力の定着に充てる
- 授業の中で徹底した反復練習を行う
- おの検定の活用
- 教科部会の充実（評価・評価規準の明確化）
- 新学習(数学・英語)

【2】「学習内容の定着」を目指す主体的な学び（家庭学習）

家庭学習の充実

- 課題の出し方、提出のさせ方の検討
- ノート指導
- 質問日、長期休業中の学習会
- 睡眠調査、個別教育相談
- 授業と家庭学習のリンク（家庭学習アンケート）
- 「学習の手引き」の効率的な活用